

平成19年11月20日

林政審議会施策部会委員から出された主な意見

平成19年11月19日（月曜日）に開催された林政審議会施策部会において、「平成19年度森林及び林業の動向（第1部森林及び林業の動向）」について委員から以下のような意見が出された。

- ・ 我が国の林業をとりまく環境は非常に厳しく、構造の変革が必要な状況にあることから、今後求められる新たな林業の姿についてわかりやすく示すべき。タイトルについても単なる再生ではないことを打ち出すものとすべき。
- ・ 森林・林業と地球温暖化防止の関係について国民の理解を一層深めるため、その関係を紐解いてわかりやすく記述すべき。
- ・ 木材消費地と木材産地とでは森林との関わりが異なることから、それぞれに対応した記述とすべき。
- ・ 資源が充実しつつある中、どのようにすれば安定供給が可能なのか、また、充実しつつある森林資源をどのように次世代に引き継いでいくのかについてわかりやすく示すべき。
- ・ 国産材が使われることが森林の整備を進めることにつながることをもう少し強く訴えていくべき。また、国産材の利用拡大を進めるためには、新たな利用分野を創出するためのマーケティングなどが重要であることについて記述すべき。